

令和 6 年度
学校評価書

小浜市立今富小学校

令和6年度 学校評価(最終)アンケート結果

※網掛けは目標値を超えたものです。

【児童】

- A:取り組んだ・できた
B:どちらかといえば取り組んだ・どちらかといえばできなかった
C:どちらかといえば取り組めなかった・どちらかといえばできなかった
D:取り組めなかった・できなかった

D:取り組みなかった・できなかった					(%)		(%)	
評価項目		全学年				目標値	最終	中間
		A	B	C	D	A+B	A+B	A+B
心 思いやりのある子	私は、自分の学級がいごちのよい学級だと感じる事が	68.8	26.6	2.5	2.2	85%	95.4	93.0
	私は、登下校時、自分から進んで「おはよう」「おはようございます」のあいさつが	65.6	25.3	6.9	2.2	80%	90.9	87.5
	【1・2年のみ】私は、ふるさと（今富）の良さを感じる活動に楽しんで	86.0	12.7	0.0	1.3	90%	98.7	95.5
	【3年以上】私は、ふるさと小浜（今富）の良さに気づくことが	60.6	35.2	2.8	1.4	90%	95.8	91.3
頭 学びに夢中になる子	【1・2年】分らないことをみんなで調べたり、考えたりする楽しさを感じる事が	80.3	17.0	0.0	2.7	80%	97.3	95.2
	【3年以上】わからないことや疑問を自分たちで調べたり、考えたりする楽しさを感じる事が	60.7	32.7	5.7	0.9	80%	93.4	89.6
	私は、自分にあつた学習のめあてをもって、計画的に家庭学習に	60.3	35.3	3.7	0.6	80%	95.6	94.3
体 健康でたくましい子	私は、早寝・早起きを、特に意識して生活することが	56.3	30.0	11.6	2.2	80%	86.3	84.0
	私は、前向きに業間体育に	72.2	21.9	4.7	1.2	85%	94.1	93.0
	私は、今富スマートルールを守って生活することが	66.6	27.8	4.7	0.9	85%	94.4	91.6

【教職員】

- A:取り組んだ・できた
B:どちらかといえば取り組んだ・どちらかといえばできなかった
C:どちらかといえば取り組めなかった・どちらかといえばできなかった
D:取り組めなかった・できなかった

D:取り組みなかった・できなかった					(%)		(%)	
評価項目		教職員				目標値	最終	中間
		A	B	C	D	A+B	A+B	A+B
心 思いやりのある子	すべての子にとっていごちのよい学級づくりに(担任)	73.3	26.7	0.0	0.0	85%	100	93.3
	登下校時、児童が自分から進んであいさつができるような指導に(全職員)	39.1	52.2	8.7	0.0	80%	91.3	90.9
	ふるさと小浜(今富)の良さが分かる児童の育成に(担任)	62.5	31.3	6.3	0.0	90%	93.8	87.5
頭 学びに夢中になる子	分からないことや疑問を自分たちで調べ解決する楽しさを感じる授業を行うことが(授業者)	25.0	65.0	10.0	0.0	80%	90.0	89.5
	自分にあつためあてをもって、計画的に家庭学習に取り組めるよう、家庭学習の手引きを活用して指導を行うことが(担任)	42.9	50.0	7.1	0.0	80%	92.9	80.0
体 健康でたくましい子	基本的な生活習慣の中で、早寝・早起きについて、計画的・日常的に機会をとらえて指導が(全職員)	17.4	60.9	21.7	0.0	85%	78.3	86.4
	児童が前向きに業間体育に取り組めるように工夫して指導が(全職員)	26.1	56.5	17.4	0.0	85%	82.6	81.8
	今富スマートルールについて、適宜、場面をとらえて指導することが(担任)	41.2	58.8	0.0	0.0	85%	100.0	93.8

【保護者】

- A:取り組んだ・できている
B:どちらかと言えば取り組んだ・どちらかといえばできている
C:どちらかと言えば取り組んだ・どちらかといえばできていない
D:取り組めなかった・できていない

D:取り組みなかった・できていない					(%)		(%)	
評価項目		保護者				目標値	最終	中間
		A	B	C	D	A+B	A+B	A+B
心 思いやりのある子	お子さんは、自分の学級をいごちのよい学級と感じることが	54.7	37.1	6.3	2.0	85%	91.8	96.1
	お子さんは、登下校時、気持ちのよいあいさつが	37.9	46.1	12.9	3.1	80%	84.0	82.4
	1,2年:お子さんはふるさと(今富)の良さを感じる活動に楽しんで	50.9	44.5	4.5	0.0	90%	95.4	88.8
	3~6年:お子さんは、ふるさと小浜(今富)の良さに気づくことが	45.1	47.6	4.9	2.4	90%	92.7	89.0
頭 学びに夢中になる子	1,2年:お子さんは、分からないことをあきらめずに考えることが	38.0	52.8	7.4	0.9	90%	90.8	88.3
	3~6年:お子さんは、分からないことや疑問をあきらめずに考えたり、調べたりすることが	35.4	47.8	13.0	3.1	80%	83.2	76.9
	お子さんは、自分にあつためあてをもって、計画的に家庭学習に	30.5	51.6	14.5	3.5	80%	82.1	77.2
体 健康でたくましい子	お子さんは、いきいきチャレンジの取組を通して、早寝・早起きに気をつけた、望ましい生活習慣を身につけることが	34.4	52.7	9.8	3.1	85%	87.1	84.6
	お子さんは、体力の向上に向けた取組(業間マラソン・輪車・業間なわとび等)を通して、日常的に体を動かすことが	64.8	29.3	5.5	0.0	85%	94.1	91.9
	お子さんは、今富スマートルールを守って生活することが	30.9	54.7	11.3	3.1	85%	85.6	83.7

学校評価(最終)のアンケート結果についての考察と今後の対応

※集計結果は別紙(資料)をご覧ください。

(学校教育目標) すすんでかかわり 生き生きとりくむ今富っ子			
	心(思いやりのある子)	頭(学びに夢中になる子)	体(健康でたくましい子)
成果と課題	○いごちのよい学級、登下校時のあいさつ、ふるさとのよさに気づくことに関する項目の全てにおいて、児童・教職員・保護者の数値が目標値を上回った。特に、いごちのよい学級、ふるさとのよさに気づく項目では、全ての数値が90%を超える結果となった。	○探究的な授業作りでの学びのサイクルが、児童・教師ともに意識したり、わかるようになってきたりした。 ○計画的に家庭学習に取り組むことについては、めあてのふり返りと再設定に加え、保護者のサインをもらったり、チェック項目を保護者と確認したりすることでのめあての共有や意識化ができた。またアウトメディア週間、学校行事、テスト期日等を事前に伝えるなど機会をとらえて目標や見通しをもって取り組み、その成果やよさを振り返ることができた。それにより、保護者のAB評価が約5%アップとなった。 ○わからないことや疑問を保護者に聞くことを意図的に設定したことや、それを全体の場で紹介することで保護者と学習について話題にする児童が増えた。また、上記の取り組みや各学期にめあてを設定したこと、学習意欲の向上にもつながり、AB評価が三者とも中間評価を上回った。 △教師、保護者ともにA評価が少ない。	○全ての項目において良好な結果が出た。 ○子どもたちが早寝の大切さを科学的に理解できるようになったことで、生活改善の意識が高まった。 △教員の目的意識が希薄だったり、集計が難しかったりしたことにより、業間体育に関する教職員の項目のみ、数値を下回った。 △メディアコントロールのねらいの共有が十分ではなかった。
改善策・対応策	・お互いの個性を認め合い、助け合える学級作り、困ったことは相談しやすい雰囲気作りに今後も取り組む。 ・気になる様子がある時、問題が起こったときは、子どもたちから丁寧に話を聞き対応する。児童が自分の行動を自分でよりよく改善できるよう、チームで支援を行う。 ・委員会や教員によるあいさつ運動、ふるさと教育の充実に、今後も継続して取り組む。	・探究的な授業作りでの学びのサイクルを継続的に実施し、児童が各教科の見方・考え方や汎用的な見方・考え方を働かせて深い学びに向かうために実践を紹介し合ったり、授業を見合ったりして、教師の深い研修と授業作りを進めていく。 ・各学期に家庭学習のめあての設定とふり返り、家庭との共有を継続して行う。また、来年度は、めあてをより具体的に設定し、自分で家庭学習の質を高められるようにする。	・メディアコントロールのねらいを再度共有する。 ・「早寝」につながるように、結果の集計を迅速に行い、個々の生活改善を図る。

後期の学校評価において、学校教育全般について、日頃感じておられることをお書きいただき、ありがとうございました。いただいたご意見への回答をさせていただきましたので、ご覧下さい。

- ・登校後にすぐに制服から体操服に着替えるのであれば制服は式典の時だけで良いと思います。
- ・先の一輪車競技会では得意な子、苦手な子、共に協力して頑張っている姿をみれました。先生方の丁寧な指導あつての事と思います。ありがとうございます。夏の間、体操服登校可でしたが年間を通して可能になればと思います。登校してからの短い時間に着替えること、(高学年になると男女別で着替えるのか分かりませんが)更衣室もないことで制服の下に体操服を着て登校していますが、今年は 10 月でも暑かったこともあり体温調節の面でも心配でした。登下校では荷物も多く、大人がランドセルを持っても重いです。冬になると防寒着も着ます。少しでも子ども達が動きやすい格好で歩ければと思います。制服を着ることの大切さも理解できますので、制服登校の日を設けるなどで対応できないでしょうか。

登下校時の服装について、現在は制服を基本としています。ただし、朝から運動会や陸上記録会など体育的な活動を朝から行うことが多い 4 月末から 10 月上旬までについては、体操服登校期間としています。学校としては、身だしなみを整え、気持ちを引き締めていくといったことを意図して制服による登下校を原則で考えていますが、気象条件も今年の 10 月のように非常に気温が高い年もありますので、移行期間を長めに設定するなどについては検討していきたいと考えています。

また、ランドセルの荷物については、4 月 17 日付け文書で以下のようにお知らせしました。再度、このことを学級で伝え、少しでも負担が軽くなるようにしていきます。

(4 月 17 日文書「児童の学習用具の重さや量への配慮について」)

■国語算数について

- ・教科書は毎日持ち帰る。
- ・それ以外の教材は置いて帰ってよい。
(宿題、自主学習などで必要な物は持ち帰る。)

■国語算数以外の教科等について

- ・教科書、ノートを含めて全ての物を置いて帰ってよい。(宿題、自主学習などで必要な物は持ち帰る。)

■置いて帰ってよい物の保管の仕方について

- ・使用頻度の少ない(週に 1 回程度)物は、回収して、教室にまとめて置く。使用頻度が多い物は、B4サイズのビニールケースやファイルボックスに入れてロッカーに置く。

- ・2 年生が普段使っている新体育館のトイレを男女別にしてほしい。個室は女子用という雰囲気があるのか、我慢してしまうことがあるようです。よろしくお願いします。

男女別のトイレについては、学校から市へ要望していきます。また、トイレを我慢しないように学年に応じて話をします。

- ・タブレットで宿題を行うことは本当にプラスに働いているのか疑問に感じています。

タブレットをはじめ、ICT機器を活用した学習は、新しく入ってきたものであり、本校においても、その効果や影響を見ながら進めているところです。保護者の方の思いを聞かせていただき、参考になりました。

文部科学省では、社会構造や価値観が複雑化する現代社会においては、ICT の高度な利活用が必須であるとの認識を示しており、国の指針のもと、効果的な方法を模索しています。職員も子どもたちの反応や先進校の取組から学んでおりますので、お気づきの点などありましたら、お知らせいただけると幸いです。

- ・放課後遊ぶ時に道を一輪車ブレボー等で移動しているのを見かけると危ないなと思います。自転車でもルール守らないと同じ事は言えるのですが。
- ・朝の登校時の様子をみていると、車が止まってくれると信じきって歩いている様子が気になります。道を横切る時も班長さんが持っている旗が活躍してしている感じが残念ながらあまりありません。周辺の方は親切な方がほとんどで、とても気を使って運転してくださる方ばかりですが、だからと言って安心しきっているのは違うんじゃないか?と思います。もう少し、危機感を持って通学してほしいな。と感じています。

地域での様子をお知らせいただき、ありがとうございます。学校では、交通安全について年度初めや学期末に定期的に指導をしています。また、低学年では、通学ボランティアさんが声をかけ、安全な歩き方ができるようにしてくださっています。下校後についても、安全に過ごせるよう再度、指導を進めます。最終的には、お子さんが自分で自分の命を守れるようになるのが重要ですので、各ご家庭においてもお子さんの実態に合わせてお話しいたきますようお願い申し上げます。

- ・親子ふれあい学級の PTA からの補助金についてですが、補助金額ちょうどに合わせて領収書を整備するというのは大変ですし、ナンセンスだと思います。上限額が決まっているのであれば、領収書の総額が仮にそれを上回っていても、支給される補助金は上限額までとすればよい気がします。無駄に役員の負担になっている気がするので、改善していただきたく思います。

PTAふれあい活動について、大変お世話になり、ありがとうございました。「ふれあい学級」は、「児童一人200円×人数」で予算が立てられています。例えば、50名の学年ですと、200円×50名で10,000円の予算となります。

この金額ちょうどの金額でなくてもかまいませんが、上限額を超えてPTA役員の方が個人負担されることがないようにお願いします。

- ・今富は新しく住む人も多いです。少しずつでも地域の交流を増やして、安心して学びやすい、住み心地の良い環境になっていくといいなと思います。

現在、子どもたちはふるさと学習や総合的な学習において、地域の方にインタビューしたり、コミュニティセンターで地域の方に学習したことを発表したりしています。地域の方の温かい言葉かけや見守りにより、安心して学習できおり、地域への愛着心も育まれているところです。今回の学校評価アンケートの結果では、「ふるさと（今富）のよさを感じている児童が1・2年生で98.7%、3～6年生で95.7%という結果も得られました。

安心して学びやすい、住み心地の良い環境を願うのは、学校も同じです。引き続き、地域の方のお力を借りながら、そのような環境が作れるように努めてまいります。

- ・学業だけでなく、生活の質の向上や、体力、人としての教育、食事まで幅広く、責任を持ってご指導頂き、本当に感謝しています。ありがとうございます。
- ・とてもよく見ていただいています。わかば学級の取り組み方に不満は何もありません。いつもありがとうございます。
- ・毎日普通のように登下校し、学校を楽しんでくれていることに喜んでいます。先生方や下校ボランティアの方々には、本当に感謝しています。勉強も運動も大事ですが、友達とのかけがえのない毎日を思いっきり楽しんで欲しいです。保護者として、その生活を守るために、できる限りサポートしていきたいです。
- ・いつもありがとうございます。おかげさまで 1/2 成人式が家庭でできました。人としても、親としてもお互い半人前だから、まだまだ成長できねと話していましたが、一輪車が乗れるようになったのを見て、しっかり努力していることを知り、親の方が努力不足なんじゃないかと焦りました。高学年に向けて残り数ヶ月ですが、かけがえのない毎日を思いっきり楽しませてあげたいと思いますし、保護者として全力で支えていきたいと思います。先生方にはお世話になりますが、引き続きよろしくお願い致します。
- ・いつも丁寧な対応をして頂き感謝しています。困り事や疑問等を相談しやすい雰囲気を作っただけ、おかげさまで本人もやる気を持って過ごせています。
- ・子供本人は学校が大好きなようです。様々な要素が重なっての感覚だと思いますが、これからも元気に前向きに学校生活を楽しんでほしいと願うところです。先生方には大変お世話になりますが、ご指導、ご助言等よろしくお願い致します。
- ・毎日機嫌良く通わせてもらって、先生方やお友達に感謝しています。いつも色々な体験をさせてもらってありがとうございます。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・クラスで友達との問題が生じた時、すぐに対応して下さり、解決に向けての話し合いをして下さった。その後も、何かあった時は早めに連絡していただけるので、有り難いです。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。子どもはクラスのみんなが明るく喋ってくれるから楽しいと言っています。今後どうぞよろしくお願い致します。
- ・先生方には毎日子供のことをしっかり見ていただき、感謝しております。

今回、学校に対して、非常にたくさんの応援メッセージをいただきました。校長以下職員一同、心からうれしく、励まされる思いで、お一人お一人のメッセージを受け止めました。ありがとうございました。

職員一同、日々、愛情をもって一生懸命やっていますが、至らない点もあるかと思えます。今後もお子さんを中心にすえて、ご家庭や地域の皆様とともに、今富小学校の子どもたちを育てていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。